

第57回症例検討会
case78

眼球の灼熱痛に対する鍼灸治療の一症例

2026年6月8日
合同会社結 代表
山元大樹

40代 女性

主訴:眼球の灼熱痛、羞明、眼の渴き

医師の診断名:原因不明、斜視

家族歴:(父:なし)(母:ヘバーデン結節※加齢による)(子:なし)

既往症:なし

現病歴:自律神経の乱れ (スライド5参照)

医療機関:眼科5件、心療内科1件合わせて6件

内服薬:皮膚科の薬、抗鬱剤、抗不安薬を心療内科にて。お薬後述

サプリ類:オオバコ、クルクミン、ルチン、ゼアキサンチン、ブルーベリー

生活歴:アルコール週7 (缶ビール2本程度)

喫煙:あり一日10本

食事:1日3食(日によって時間は変わるが8:30,13:00,21:00)

出産歴:なし

アレルギー:化粧品アレルギー※具体的には特定できていない

検査:眼圧、視野検査など⇒結果は特に問題なし

薬の服用①

■皮膚

ダラシンTローション 1% (外用抗菌薬/ニキビ治療薬)

シナール配合錠 (ビタミンC製剤/抗酸化・色素沈着改善)

スピロラクトン錠 25mg「日医工」(利尿薬/抗アンドロゲン作用)

クラシエ十味敗毒湯エキス錠 (漢方薬/皮膚炎・化膿傾向改善)

リザベンカプセル 100mg (抗アレルギー薬/炎症抑制)

ピドキサール錠 10mg (ビタミンB6製剤/代謝改善・神経サポート)

■眼科

レバミピド懸濁性点眼液 2%「参天」5mL (角膜保護薬/ドライアイ治療)

フルオロメトロン点眼液 0.1%「NIT」(ステロイド点眼薬/抗炎症薬)

薬の服用②

■心療内科

ロラゼパム錠 0.5 mg「サワイ」（抗不安薬／ベンゾジアゼピン系）

セルトラリン錠 25 mg「サワイ」（抗うつ薬／SSRI）

ゾルピデム酒石酸塩錠 5 mg「サワイ」（睡眠導入薬）

ドグマチール錠 50 mg（抗うつ・消化機能改善薬／スルピリド製剤）

■サプリ：オオバコ、クルクミン、ルチン、ゼアキサンチン、ブルーベリー

主訴としてご本人が記載されたもの

- **眼痛**がx年10月より生じて、大学病院含め色々周りましたが原因も不明で良ならず、勝手ながら自律神経からもきているのではないかと考えています。今後、脳等人間ドック受診も考えています。
上記の他、もともと**右足親指が痺れて**いたり、最近**右手の痺れ**も不定期に生じ**右手だけ冷たい**状態になっています。
さらに**首の痛み**も出てきて満身創痍のため、鍼も試してみたく思いました。
※客観的にも手足の冷えは顕著、整形外科受診無し
- 初診問診時、工作中、オフィスの中にも関わらずにサングラスをかけていないと眩しいと感じるぐらい**光に過敏**になっていると言及。目の灼熱痛は両目を取り出して日焼けサロンでずっと焼かれている感じとのこと。

現病歴の時系列

- **X-1年9月**：仕事が忙しく、細かい作業で眼を使う。4月に引っ越しも重なり**ストレス過多**に。睡眠時間も少なく、心に余裕なく、自分で自律神経が乱れていると感じていた
- **X-1年10月**：**急に両目の濁きと若干灼熱感**を感じていた。寝れば大丈夫と思っていたが1週間経って、どんどん酷くなるので眼科受診。口コミの評価は良かったものの検査器具なども古びれた感じがあり、信じられなくて転院。**ストレス過多で夜中までお酒を飲んで**いた
(缶ビール3缶程度をゆっくりと。)

現病歴の時系列

- **X-1年11月**：次に会社の近くの有名な眼科（大きくて眼の総合病院と評判なところ）へ。**診断結果は斜視**。治療方法はなく、斜視用の眼鏡を作るしかないといわれた。
- その1週間後、自身でドライアイでないの？と思った。
大学生のころ、**レーシック手術**を行う。その際、コンタクトレンズで眼が傷ついていて、乾燥しているとその際のドクターから言及
- レーシック手術当時の眩しい感じを思い出し、自宅近くの眼科へ。そこで**斜視ではなく、斜位**である可能性が高いといわれる。ドライアイの治療をしましょうと云われ、**目薬と涙点プラグ**を実施。しかし1,2週間経って変化なし。

現病歴の時系列

- **X-1年12月**：心配した会社の先輩から**大学病院**を勧められ転院。その大学病院で初診時に眼の痛みに詳しい病院があると紹介されてその日に転院。原因を追究する為に**目薬と涙点を埋める薬（キープティア）**を行い、**効果なし**。
- **X年1月**：**心療内科**の受診を勧められる。転院。**抗不安剤**を処方。診断はなし。このままいくところない感じて**鍼灸院**を選択

生活状況（仕事、家庭環境等）

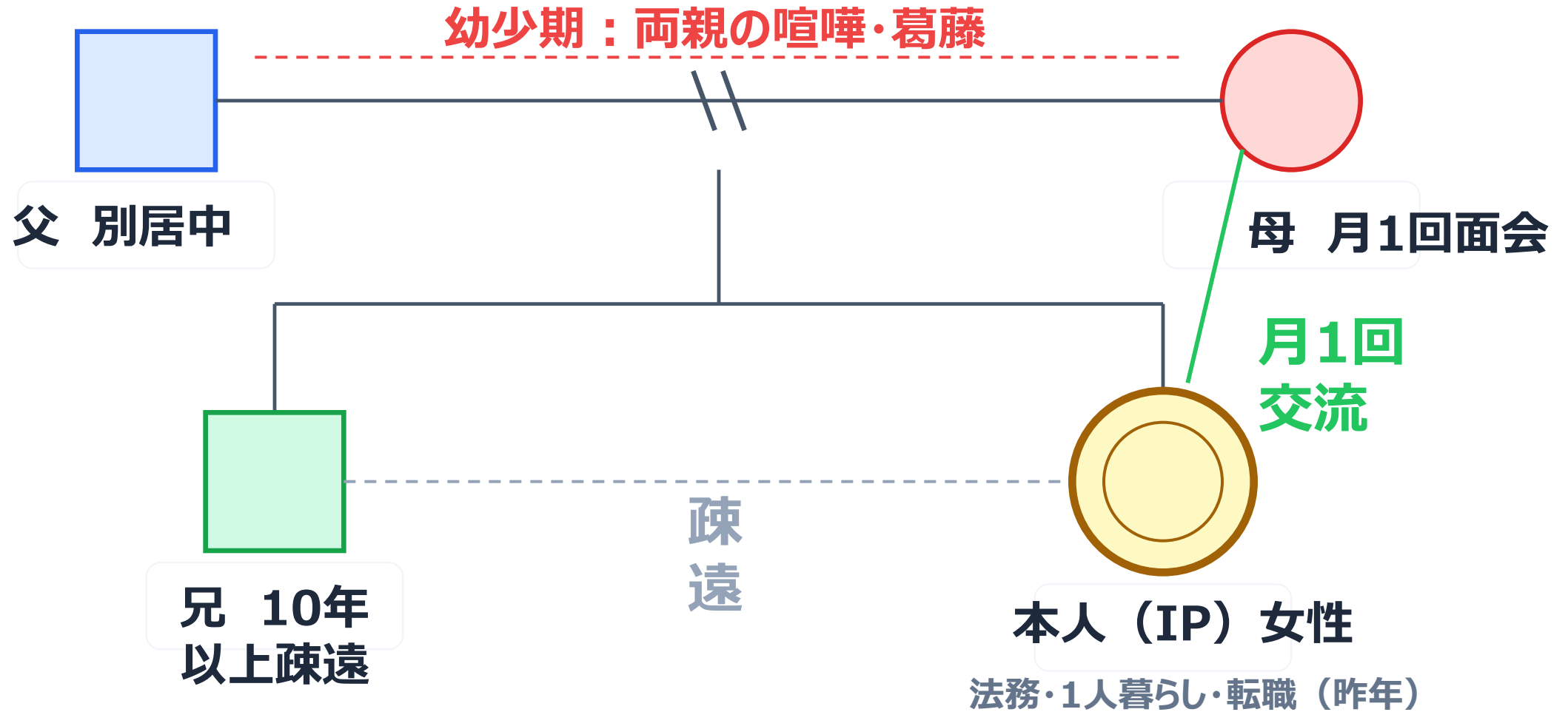
- **1人暮らし、X-1年の4月に転職、9月に引っ越しをされた。**

仕事内容としては法務。一日8時間週5勤務。**基本デスクワーク。**

仕事は楽しい。改善されていないことを改善する達成感があり、楽しい。

ご家族は兄、母がおり、母とは一ヶ月に一回はあっている。幼少期は父親と母親の喧嘩がつかった。今は両親は離婚して離れて暮らしている。兄とも10年以上疎遠。転職してから仕事のストレスがあったが目を悪くしてからは仕事をセーブしてストレスを調整できるようになった。

ジェノグラム



凡例 □ 男性 (青枠) ○ 女性 (赤枠) 二重円 = IP (本人) // = 離婚 赤破線 = 葛藤 灰破線 = 疎遠 緑線 = 近い関係

心理社会的背景

・疾患に対する本人の状態

不安もある中で、治る治る治ると自己暗示をしていた。この症状には意味があると信じていた。仕事をセーブするとか、目の悪い人にやさしくするなど、不自由を感じて気づくことがあるんだ、と考えていた。

しかし、不安の程度は莫大で、目を使えなくなるかもと思っていた。一生閉じこもって暮らすかもと思っていた。人見知りで責任感高く、仕事もしっかりやるタイプ。発症当時、仕事では関係の悪い上司の二人の間に入るような状況でストレスを非常に感じていた。経済的には困っていない。

客観的情報

身長: 161cm 体重: 53kg BMI: 20.4kg/m²

体温: 36.4℃

脈拍: 測定せず

血圧: /mmHg測定せず

SpO₂: 測定せず

東洋医学的情報

証:裏実平証、痰濁証、肝うつ気滞証

寒熱:寒 **燥湿:**湿 **食事:**旺盛 **二便:**便秘気味、尿が近い

睡眠:寝つきが悪い **月経:**月経痛（月経前半）、月経前に不調を感じる

七情:落ち込みやすい **水滯:**足のむくみ **硬結:**頸肩部に多数

圧痛:魚腰に顕著

脈診:脈沈弱

舌診: 齒痕舌、

舌色: やや紅、舌尖紅 **舌形:** 特に目立つ所見はなし **苔:** 白薄苔

腹診:胸脇苦満、側腹部の圧痛、鼠経靱帯の圧痛

文献

論文

- Duan H, Zhou Y, Ma B, Liu R, Yang T, Chu H, Huo Z, Qi H. Effect of Acupuncture Treatment on the Ocular Pain, Mental State and Ocular Surface Characteristics of Patients with Dry Eye Disease: A Non-Randomized Pilot Study. Clin Ophthalmol. 2024 Oct 3;18:2751-2764.
- Rosenthal P, Borsook D. Ocular neuropathic pain. Br J Ophthalmol. 2016 Jan;100(1):128-34.
- 書籍：ツボがある本当の意味（栗原誠著）